

# 第56回神奈川県高校放送アンデパンダン大会 実 施 要 領 2021/12/13ver

## 1. 目的

生徒相互の主体性を尊び、創造性と協調性を向上させ、校内放送活動をメディアリテラシーの実践として位置づける。また、高校生の豊かな創造性を育み、芸術的感性の向上をめざす。あわせて情報発信としての校内放送活動の発展をはかる。

## 2. 主催・後援

主催：神奈川県高等学校視聴覚教育研究会、神奈川県高等学校文化連盟  
後援：神奈川県教育委員会、日本工学院、ラジオ日本、FM横浜、テレビ神奈川  
神奈川新聞社、朝日新聞社横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞社横浜支局

## 3. 日程・会場

### 審査

2022年3月27日(日) 県立神奈川工業高等学校 (日程・会場が変更になりました)

**※当日の来校は顧問の先生のみとなります。**

- ・ 役員集合 8:30
- ・ 審査員集合 9:30
- ・ 審査打ち合わせ 9:30～10:00
- ・ 審査開始 10:00～12:00 (予定)
- ・ オンライン生徒交流会 13:00～14:00
- ・ 閉会式 (Web開催) 14:00～14:30

**※詳細な時程については、変更になる可能性があります。**

## 4. 参加資格

2022年2月現在、神奈川県高等学校視聴覚教育研究会加盟校に在学している生徒であること。ただし、参加できるのは1、2年生とする。

## 5. 出場申し込み

提出書類：①参加申込書 (公印の押されたものをPDFデータに変換)

②エントリーデータ (エクセルデータのまま)

③審査員希望表 (エクセルデータのまま)

※エントリーデータのパスワードは、参加申込書に記載

提出方法：県立上矢部高校 吉田健一 (k-yoshida@pen-kanagawa.ed.jp) 宛に提出書類①～③をメールに添付

提出期間：**2022年 1月10日(月)～2022年 1月21日(金)**

## 6. 部門・出場数・出場費

部 門	出 場 数	出 場 費
アナウンス	無制限*	一人当たり500円
朗 読	無制限*	一人当たり500円
放 送 劇	2本	一本当たり500円
映 像	2本	一本当たり500円
SV (ショートビデオ)	3本	一本当たり500円

今年度も昨年同様に参加費は「0円」とします。

**\*アナウンスと朗読に同一の生徒は 出場できません。**

## 7. 表彰

全部門通して、各会場30名以上の場合は1位～10位まで

各会場30名にいかない場合はエントリー数の30%

(端数繰り上げ。複数会場の場合は少ない方に合わせる)

## 8. 審査員について

参加校の顧問は当日審査会場に来て審査を行う。

☆ 大会当日中の交代は不可

## 9. 審査基準

- ① 高校生として望ましいアナウンスメント、朗読、番組であること。
  - ② 別紙、「審査の観点」に基づき、審査を行なう。
  - ③ 規定違反の場合、原則として減点・失格の対象となる。
  - ④ 詳細については、審査員および審査委員長の協議による。  
最終判断は、大会実行委員長の責任において行なう。
- \* 作品は、未発表のものとする。

## 10. 注意事項

- ① 全部門を通じ、出場申し込み後の変更は出来ません。
- ② 申し込みの確認（名前・部門・学年）内容を、Web ページ「集まれ！放送委員会！！」に掲載します。運営側の入力ミスがないか必ず確認してください。  
確認期間は1月25日（火）～1月27日（木）です。
- ③ 著作権処理が不備であることによって減点・失格となるケースがあります。  
赤本をよく読んで、正確に処理してください。
- ④ **この大会に参加することにより、氏名、学校名、学年、写真等の個人情報が、ホームページ、プログラムや記録集及び新聞等のメディアに掲載・公開される場合がありますので、ご承知おきください。**なお、このことについてご質問がございましたら、NHK 杯全国高校放送コンテスト県担当者へお問合せください。  
問合せ先： 三宅 義人 〒221-0803 横浜市神奈川区中丸8 捜真女学校高等部  
045-491-3686

## 11. 各部門参加・制作規定

※全部門を通じて、各部門の詳細は校内放送研究 No 1 8 2（赤本）を参考にしてください。  
（放送劇部門は創作ラジオ部門、映像部門・ショートビデオ部門はテレビドキュメント部門、創作テレビドラマ部門を参考にしてください。）

\* 赤本とは、「校内放送研究 No 1 8 2」の事を言います。

赤本のデータ及び、各部門に必要な様式のダウンロードは、下記URLまたはQRコードを読み取ってください。

[https://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon\\_h/pdf.html](https://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/pdf.html)

「校内放送研究 No 1 8 2（赤本）」データ

各部門に必要な様式のダウンロードページ



## A アナウンス部門諸規定

- ① 内容：自校のニュースや解説など、高校生活中から生まれた若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限り。
- ② 自校の校内放送に使用する内容でなければならない。本大会で使用した同じ**題材**は、**第69回NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会では使用できません。**
- ③ 時間：1分10秒～1分30秒。番号、氏名を含む。
- ④ 計時：第1声から読み終わりまで
- ⑤ 規格：1分10秒～1分30秒以内の音声データを作成。ファイル形式はmp3とする。  
前後2秒の無音を入れる。  
ファイル名は、A\_審査会場(半角大文字アルファベット)番号(半角2桁)学校名\_氏名とする。  
(A会場6番の場合の例:A\_A06新石川\_愛上雄.mp3)
- ⑥ 原稿：赤本における「様式1」をダウンロードし、入力または手書きしたものを2部印刷し当日封筒に入れ持参する。

## B 朗読部門諸規定

- ① 内容：次の5作品から1編を選び、自己の表現したい部分をきめて朗読する。  
作品の脚色は認めない。また、原稿と実際の朗読に相違があってはならない。  
**抽出は、文頭から開始し、文末で終了とすること。一文途中の開始や終了は改変とみならず。本文中の（ ）内も読むこと。（読み仮名・語注を除く）**
  - 1) 「ノラヤ」 内田 百閒 著 (中公文庫)
  - 2) 「あのころ」 さくら ももこ 著 (集英社文庫)
  - 3) 「よこまち余話」 木内 昇 著 (中公文庫)
  - 4) 「グレート・ギャツビー」 フィツジェラルド 著 野崎 孝訳 (新潮文庫)
  - 5) 「枕草子」 清少納言注意：電子書籍不可。  
1)は平成9年以降の改版に限る。4)は他の出版社・翻訳者のものは不可。  
5)は現代語訳不可、出版社は問わない。
- ② 時間：1分30秒～2分00秒。番号、氏名、作者名、作品名を含む。
- ③ 計時：第1声から読み終わりまで。
- ④ 規格：1分30秒～2分00秒以内の音声データを作成。ファイル形式はmp3とする。  
前後2秒の無音を入れる。  
ファイル名は、R\_審査会場(半角大文字アルファベット)番号(半角2桁)学校名\_氏名とする。  
(C会場20番の場合の例:R\_C20現石川\_垣久家子.mp3)
- ⑤ 原稿：赤本における「様式1」をダウンロードし、入力または手書きしたものを2部印刷し当日封筒に入れ持参する。

## C 番組制作部門諸規定

- ① 種類と時間：放送劇…1分00秒～8分00秒以内  
映像 …1分00秒～8分00秒以内  
ショートビデオ …30秒
- ② 内容：生徒自らの創作に限る。未発表の作品に限る。
- ③ 制作者：3年生の協力も事情によっては認めるが、その場合は番組進行表の末尾に学年・氏名・係(役)を明記すること。
- ④ 規格：
  - ・放送劇  
1分00秒～8分00秒以内の音声データを作成。ファイル形式はmp3とする。  
ファイル名は、H\_審査会場(半角大文字アルファベット)番号(半角2桁)学校名\_タイトルとする。  
(B会場2番の場合の例:H\_B02旧石川\_#高校生の今.mp3)
  - ・映像  
1分00秒～8分00秒以内で作成したビデオ作品の動画ファイルを作成。mp4形式、ファイル形式はH.264コーデック、アスペクト比16:9、解像度1920×1080ピクセル以下、フレームレート30fps(29.97fps)とする。  
ファイル名は、E\_番号(半角2桁)学校名\_タイトルとする。  
(12番の場合の例:E\_12石川台\_私たちの青春.mp4)

・ショートビデオ

30秒で作成したビデオ作品の動画ファイルを作成。mp4形式、ファイル形式はH.264コーデック、アスペクト比16:9、解像度1920×1080ピクセル以下、フレームレート30fps(29.97fps)とする。

ファイル名は、S\_番号(半角2桁)学校名\_タイトルとする。

(5番の場合の例:S\_05石川下\_青春と私たち.mp4)

- ⑤ 番組進行表：赤本における「様式2-1」～「様式2-5」より必要な様式をダウンロードし、入力または手書きしたものを1部作成し当日封筒に入れ持参する。
- ⑥ 録音・再生：
- ・放送劇部門
    - ア) 左右両チャンネルに同じ音を録音する。
    - イ) 作品前後の無音部分は切り詰め、作品時間がわかるようにする。
    - ウ) 録音は最後に「制作は〇〇高等学校放送部(委員会)でした」というクレジットコールを入れる。
  - ・映像部門
    - \* 番組の最初と終わりには、テストパターンを**5秒間**入れること。テストパターンについては、第68回NHK杯全国高校放送コンテストの様式を使用すること。各校自作のテストパターン(静止画)の使用も可とする。
    - \*アスペクト比は16:9とする。
  - ・ショートビデオ部門
    - \* 番組の最初に、テストパターンを**5秒**入れること。テストパターンについては、第68回NHK杯全国高校放送コンテストの様式を使用すること。各校自作のテストパターン(静止画)の使用も可とする。
    - \*アスペクト比は16:9とする。
- ⑦ 計時：
- ・放送劇部門
    - ア) 番組本体についてのみ行う。
    - イ) クレジットコール終了とともに再生を終える。  
その後どんな音が入っていても審査の対象とはならない。
  - ・映像部門
    - ア) 最初のテストパターンが終了した時点から開始する。
    - イ) 計時終了は次のテストパターンが出た時点とする。
  - ・ショートビデオ部門
    - ア) 計時は最初のテストパターンが終了した時点から開始し、30秒経過した時点で放映を中止する。
- ⑧ 著作権処理について:赤本に準じて適切に処理すること。

12. 提出作品の提出方法 (提出日が変更になりました。)

全部門とも、データについては3月18日(金)～23日(水) 17:00の期間に「集まれ!放送委員会!!」の提出リンクにアクセスしてください。顧問が一括して作品を提出してください。

「集まれ!放送委員会!!」は下記URLまたはQRコードよりアクセスできます。

「集まれ!放送委員会!!」

<http://kanakousiken.nomaki.jp/housou/>

